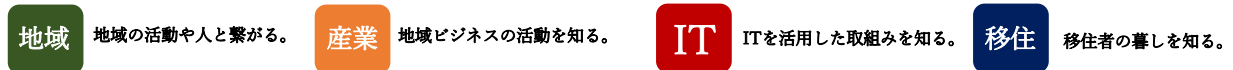




ソシエテ・リベルテ 兵庫丹波「関わりしろ（ライフシフト）」訪問ツアー 「ローカルへの接点～移住者たちの挑戦」

若者の移住が相次ぎ、兵庫県の中でも熱いと評判の丹波地域。その現場で都市からの旅行者やインターン等との接点となっている人たちを訪ねる1泊2日のツアー。そこには『ライフシフト』を実現した移住者たちがいる。のんびりした田舎移住のイメージとはまったく違う、離れていては見えない地方の今に出会う。

見どころアイコン



<12月2日（土）東京9時過ぎ発→篠山口駅13時過ぎ着>

Person 1. 角田大和さんと「晩めし屋よかちよろ」そして河原町妻入商家群の再生物語

日本遺産篠山市を代表する風景「河原町妻入商家群」。
その一角に2015年にオープンした、晩めし屋よかちよろ。移住後、大学時代の先輩が経営する丹波市の農家レストランで修業していた角田さんが、近隣に夕食を食べられる店が無いという声を背景にオープン。ランチでは曜日ごとに違う店が入るというユニークな経営。



Person 2. 中塚雅也さんと「篠山イノベーターズスクール」 ソシエテ・リベルテのコラボ対談

篠山イノベーターズスクール仕掛け人・中塚さんとソシエテ・リベルテのコラボ対談「都市のココロの動かし方」を開催。舞台は、篠山市と神戸大学がコラボレーションしてJR篠山口駅にオープンした創造と人材育成の研究交流拠点。丹波地域の元気な人たちとともに、サテライト・ディスカッションを行う。

- ・中塚雅也（神戸大学農学部准教授）
- ・庄司昌彦（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター主任研究員）
- ・ナビゲーター：小橋昭彦（NPO法人情報社会生活研究所研究員）



Person 3. 婦木克則さんと「婦木農場・農家民宿〇」 農家の夜ごはん&宿泊

江戸時代から代々続く「百姓」の婦木さんは、約30年前に「今、農村はおもしろい」というキャッチを掲げたオモシロイ農家さん。息子2人も帰郷して農業に携わり、移住者とコラボしたイベントも多数企画。里山暮らしの中で培ってきた食や暮らしの知恵をまるごと体感できる農家民宿で自家製の野菜・卵・米を使った夕食をいただく。自家製チーズや地酒も楽しめる！





ソシエテ・リベルテ 兵庫丹波「関わりしろ（ライフシフト）」訪問ツアー 「ローカルへの接点～移住者たちの挑戦」

2日目のはじめは、農家の朝ごはんから！

Person 4. 出町慎さんと「衣川會館」 佐治の空き家見学ツアー（案）

約10年前から、丹波市青垣町佐治地域で「関わり続ける定住のカタチ」を提案・実践する出町慎さん。地域の人々とともに運営する空き家活用サークル「佐治倶楽部」は、地域の町並みを守る取り組みとして空き家をリノベーションして人の集まる場になっている。現在、関西大学佐治スタジオ、本町の家、衣川會館の3つの空き家をリノベーションし運営。関大生との取り組みや、地域とのつながりについて出町さんに聞く。



地域

移住

IT

Person 5. 藤本傑士さんと「三心五観」 サスライ（サステナブルライフ）話

神戸時代は某コンビニでカップラーメンが商品化されるほどの人気ラーメン店を経営していたが、持続可能な暮らしを求めて4年前に丹波市春日町へ移住した藤本傑士さん。サスライプロジェクト（sustainable lifeプロジェクト）を立上げ、持続可能な暮らしを体現する「三心五観」を拠点に、田舎暮らしや田舎での起業促進、都市部在住者への持続可能な暮らしを提案している。自然食農家レストラン三心五観のランチと藤本さんの話を聞く。



地域

移住

Person 6. 恒松智子さん、小橋昭彦さんと「株式会社ご近所」 移住者の会社見学と2日間の振り返り

株式会社ご近所はスタッフ全員が都市部からの移住者で、都会の消費者目線で提案する企画・デザインを通して地域の課題解決・活性化を図ることをめざす会社。デザイナー、ライター、PRプランナーの4名が在籍。そのほか、複業する人も多数関わる。また市内・市外ときに都市部からのテレワーカーのコワーキングスペースにもなっている。ご近所創業者の小橋さんと、現取締役の恒松さんにご近所の活動について聞く。また2日間の振り返りを行う。丹波地酒の販売所・晩酌女子部屋もあり！



IT

産業

地域

移住

<篠山口16時25分発→東京20時過ぎ着 / あるいは17時26分発→東京21時過ぎ着>